

人民元週間レポート・新春特別号 ～1枚で分かる2021年の人民元～

2022年のレンジをずばり予想！ ドル人民元：6.35～6.68（年末見通し：6.53）

MIZUHO

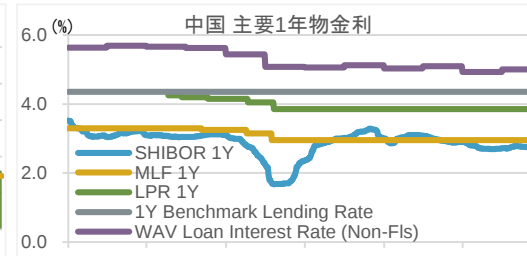
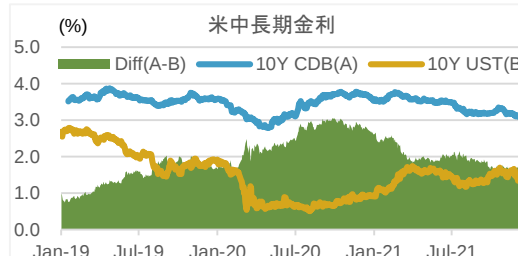
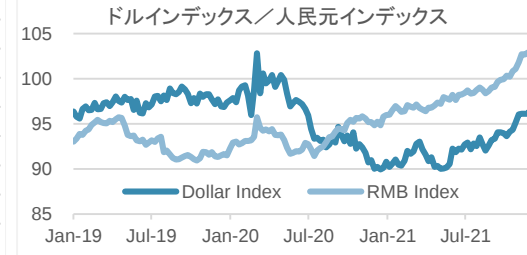
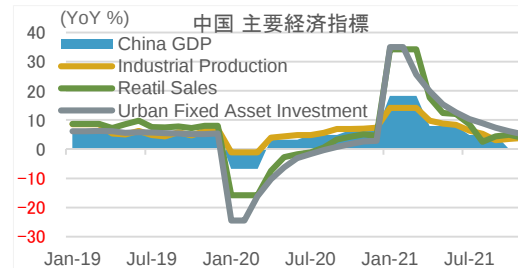
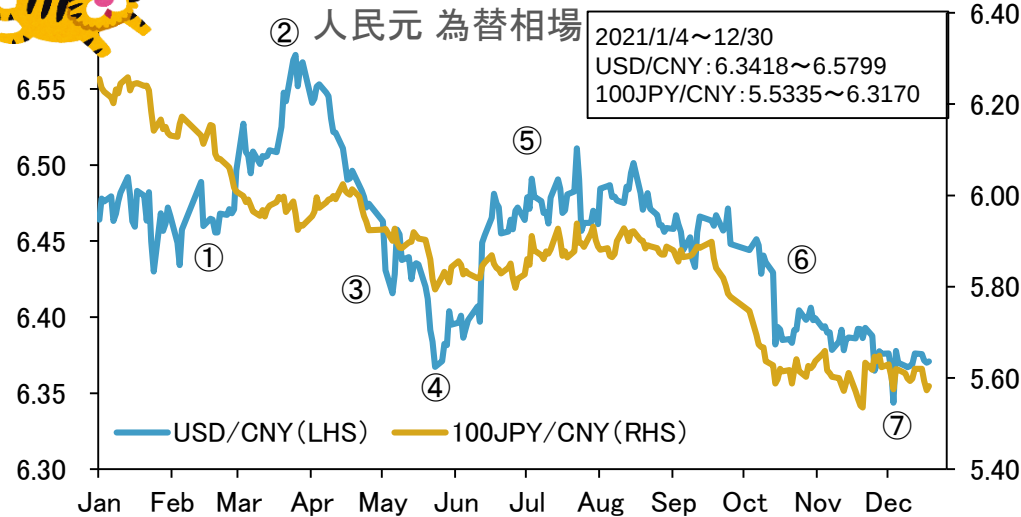
みずほ(中国) 中国為替資金部

2021年相場データ — 人民元高・金利低位安定推移：緩やかな経済成長を背景に、下半期金融調整を実施 —

(Bloombergより当行作成)



② 人民元 為替相場



2021年人民元相場振り返り

— 元の底堅さが顕著に現れる展開 —

- ① 1～3月：バイデン大統領就任やFRBのインフレ容認を背景に米金利上昇、ドル高進行
- ② 3/30：2021年最高値6.5799
- ③ 4～5月：米金利低下、中国経済回復を受け元高進行。6.4レベルを割り込む
- ④ 5/31：PBOCは外貨預金準備率引き上げを発表。元安に反転
- ⑤ 6～9月：上昇一服後は6.45付近で推移
- ⑥ 10月：ドル金利低下時のドル売り加速や堅調な実需を背景に元高進行。再び6.4レベルを割り込んで推移
- ⑦ 12/9：2021年最安値6.3418
同日、PBOCは外貨預金準備率引き上げを発表、元安方向へ

2022年 人民元相場予測 — メインシナリオ：緩やかな人民元安 —

- ・ 米中金融政策の乖離拡大：米国では2022年3回の利上げが予想されており、物価上昇を背景に着実にテーパリング終了や利上げへの道筋が示されている。一方、中国では“穏健な姿勢”で“流動性の合理的充足の維持”が示されている。米中金融政策の違いがドル高元安をサポートする流れをメインシナリオと考える。
- ・ 貿易動向：一方で、中国の貿易黒字は足元の人民元高の一要因とみられる。企業の外貨預金金額は高止まりしており、人民元買いのフローは引き続き元高要因になると考える。しかし、2022年以降、グローバルなサプライチェーン正常化の動きが進めば、貿易収支縮小が相対的な人民元安を誘発すると想定。
- ・ 上記に加え、コロナウイルス感染状況、米国との関係、高止まりするCPI/PPI、不動産セクターを巡るニュース、中国国内のセクター別監督強化は引き続き相場を上下させる要因となり得るため動向には注目したい。



「寅(とら)千里を走る」という相場格言は勢いが盛んなことの例えです。我々も虎頭蛇尾とならぬように“虎頭虎尾”の勢いで、2022年もお客さまを全力でサポートさせていただきます！（竹本）

2022年は猫をかぶらず虎のようなスピードで、タイムリーで価値ある相場情報を皆様にご提供できるように心掛けて参ります！（末吉）

2022年もよろしくお願いいたします！！

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行(中国)に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

本資料に関するご照会先：みずほ銀行(中国)有限公司
中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel: 86-21-3855-8888 Ex: 1320～1329 & 1371～1378)